

【 家庭教育支援チーム 】

チーム名 (呼称)	白岡市 家庭教育支援チーム (呼称: 「町ぐるみん白岡」) ・URL http://www.city.shiraoka.lg.jp/4592.htm
活動開始年度	22 年度
活動拠点	白岡市保健福祉総合センター「はぴすしらおか」
活動範囲	白岡市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (財源については、市からの補助金のほか、市内の民間企業からの寄付金を運営費として活動しています。)
組織体制	<p style="text-align: center;">79 人</p> <p>市内で活動する子育て関係団体、学校、行政、PTA、学校応援団、家庭教育アドバイザー、地域の方々や企業体等で構成されており、組織の運営にあたっては各団体や個人の中から選出した理事が中心となります。企画運営、普及推進、広報という3つの専門委員会を設け、町ぐるみ地域ぐるみの子育ての推進に向け、各種の取組を行っています。</p> <p>《理事の内訳》</p> <p>子ども会・スポーツ少年団等子育て団体14人、家庭教育アドバイザー8人、学校応援団11人、学校教職員11人、PTA14人、個人または法人16人(団体)、教育委員会5人</p>
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 ・みんなあつまれ！！わいわいコンサート♪(音楽愛好家との協働) 市内在住の音楽家が中心となり、乳幼児向けコンサートを実施しています。泣いても走り回っても大丈夫。お母さん、お父さんと一緒に本格的な音楽会を体験する機会です。 ・ひこべえの森冬のつどい(環境団体・地域・教育委員会との協働) 主に、中・高生を対象として、地域の皆さんとボランティア活動や自然体験活動、異年齢交流などの推進を図ります。同時に、中・高生の力を地域に還元することもできます。 ・学校応援団交流会(学校応援団・PTA・学校との協働) 小中学校の応援団や PTA のほか、地域のボランティア団体や教職員などが、それぞれの視点から子どもたちの活動支援について意見交換を行います。 グループワークでは、毎年白熱した議論で盛り上がります。 ・我が家の約束チェックシートの配布(学校・幼稚園・保育園との協働) 毎年、5月と11月の第3日曜日を「町ぐるみん白岡の日」とし、その前後を「町ぐるみん

	<p>白岡週間」としています。これにあわせて、18 項目のチェックシートを配布し、各家庭での子育てを振り返る機会とします。 集計結果は、HP で公開しています。</p> <p>・我が家の約束交流会</p> <p>様々な機会を捉え、対象を変えながら我が家の約束チェックシートを題材としたグループディスカッションを行っています。子どもたちだけでなく、保護者間の交流や子育て意識の醸成を促す機会としています。</p> <p>・「町ぐるみん白岡」だより第6号の作成・配布(情報発信)</p> <p>毎年3月31日付け発行し、市内全戸に配布しています。</p> <p>特集内容に合わせた市内の小・中学校及び高校生の声や活動団体の紹介のほか、子育てに役立つ情報など、「町ぐるみん白岡」の活動に興味を持ってもらえるような紙面構成に努めています。</p>
<p>活動の成果</p>	<p>・市からの補助金を得ているものの、独立した組織運営と活動内容を評価いただき、「第5次白岡市総合振興計画基本構想」の3つの重点プロジェクトのなかの「白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト」の重点施策として取り上げていただくこととなりました。</p> <p>・平成 28 年度には、「第58回全国社会教育研究大会千葉大会」の「家庭教育支援の充実～家庭の教育力向上を図る支援のあり方～」分科会において、活動事例の発表を行いました。</p>
<p>活動において苦労した点や課題</p>	<p>・「町ぐるみん白岡」の活動は、短期間で結果の出るものではないでしょう。10年、20年あるいはそれ以上継続することで、地域の子育て風土となり、コミュニティの潜在的意識となったとき、活動の意義を市民全体で共有できるのだろうと考えています。</p> <p>持続的な活動の実現のためには、固定的なメンバーによる献身的活動ではなく、できるだけ多くの方々が、できるときにできる分だけの活動を、できるだけ継続的に行うことが大切だと考えています。</p> <p>従って、学校や家庭だけが子育てを行うのではなく、地域も地域のやり方で地域の子どもの育ちを支援する取組を継続する「意識」の定着が課題だといえます。</p>
<p>今後の活動目標</p>	<p>家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみ・町ぐるみで子どもたちの未来を一緒に考えていくための「懸け橋」となることを目指しています。</p> <p>また、地域で子育て活動を行なう個人や団体同士の仲立ちをしたり、新しい取組に発展させたりする接着剤・潤滑油の働きを務めます。類似の活動を行う団体の横のつながりを強め、異なる活動を行なう団体には交流の場を設けることで、地域全体の教育力の向上を図ります。</p> <p>活動の輪がどんどん広がって、「町ぐるみん運動の町」と呼ばれ、子どもたちの笑顔とともに、市民みんなの笑顔あふれる町になればよいと思います。</p>
<p>問合せ先 【公表可能な連絡先】</p>	<p>・担当者氏名 奥野 麦生</p> <p>・所属 白岡市教育委員会教育部生涯学習課</p> <p>・住所 〒349-0292 埼玉県白岡市千駄野432</p> <p>・電話番号 0480-92-1111(内線274)</p> <p>・E-mail syougaiakusyuu@city.shiraoka.lg.jp</p>